SELPHY CP730/CP720

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド

はじめに

プリンターをお使いになる前に、必ず本書の「安全上のご注意」(→ P.37)と「取り扱い上のご注意」(→ P.39)をお読みください。

このガイドの表記について

プリンターを正しく動作させるための注意事項や制限事項を記載しています。

プリンターを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このプリンターは、SD*メモリーカードやマルチメディアカード**をはじめとする、さまざまな種類のメディアがお使いになれます。(使用できるメモリーカードの種類は、P.13でご確認ください)
* Secure Digital(著作権保護システム)の略
** Reduced-Size MultiMediaCardは、「RS-MMC」と表記します。
このガイドでこれらすべてを指すときは、「メモリーカード」と表記します。

また、本書に記載されている「カメラ」とは、CP730/720対応のデジタルカメラおよびデジタルビデオカメラです。

イラスト、画面例について

本書では、おもにCP730のイラストおよび液晶モニターの画面例を使用しています。特に注記のない限り、CP720をお使いの場合も操作は同様です。また、液晶モニターの画面例には、「P」(ポストカードサイズ)のインクカセットが表示されているものを使用しています。
本書では「カメラ」の例としてデジタルカメラを使用しています。

著作権について

あなたがキヤノン コンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/720で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

保証について

このプリンターの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

補修用性能部品について
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

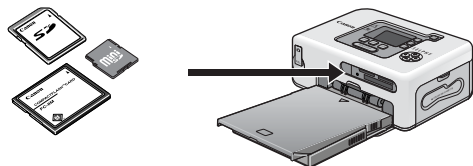
カメラの通信設定について
お使いのカメラによっては、カメラとプリンターを接続する前に通信設定を変更する必要があります。
- **EOS 5D/10D/20D/30D/Kiss Digital/Kiss Digital Nをお使いの場合**
  カメラの[通信設定]を[PTP]、または[印刷/PTP]、[印刷/PC]に設定してください。(設定方法は、カメラの使用説明書をお読みください)
- **キヤノン製以外のカメラをお使いの場合**
  お使いのカメラの使用説明書をお読みください。

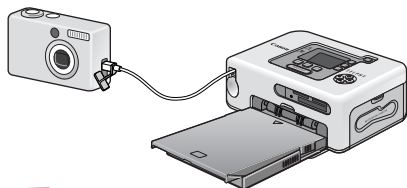
このプリンターでできること

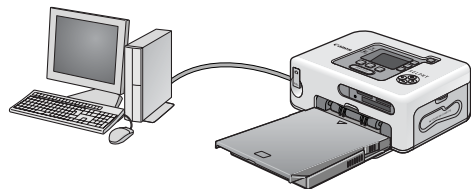
セルフィーなら、さまざまなシーンで、多彩な印刷が楽しめます。

選べる印刷方法

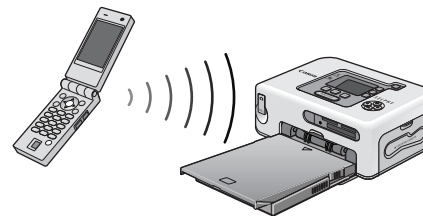
メモリーカードから

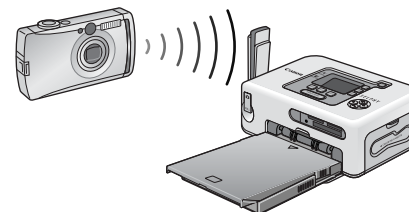
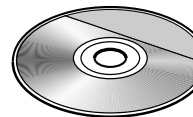
カメラや携帯電話から取り出したメモリーカードをプリンターのスロットに差し込んで印刷します。

カメラを接続して

プリンターから引き出したUSBケーブルやカメラに付属のUSBケーブルをカメラに接続して印刷します。

パソコンに接続して

パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続して印刷します。

携帯電話から

BluetoothやIrDA（赤外線通信機能）に対応した携帯電話やPDAを使って、ケーブルを接続することなく印刷します。

・Bluetoothの場合、別売のBluetoothユニット（BU-20）が必要です。
・IrDAは、CP730のみの対応です。

無線LANを使って

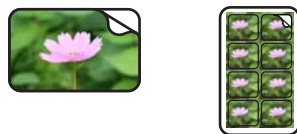
別売のIXY DIGITAL WIRELESSとワイヤレスプリントアダプターWA-1を使えば、ケーブルを接続することなく、離れた場所から印刷できます。

・パソコンで使用する場合は、接続する前に、プリンタードライバやアプリケーションソフトウェアのインストールを行ってください。インストールは、付属のCD-ROM「Compact Photo Printer Solution Disk」を使って行います。

さまざまな用紙と印刷機能

アルバム保存に最適『Lサイズ用紙』

一般的なサイズの写真を印刷します。撮影した日付を入れたり、フチありで印刷することもできます。

ちょっと小さめ『カードサイズ用紙』

手帳やおさいふにピッタリなクレジットカードサイズの用紙に印刷します。

ラベル紙や8分割ラベル紙を使えば、さらに利用方法が拡がります。

絵はがきには『ポストカードサイズ用紙』

オリジナルの絵はがきが作れます。

・別売のポストカードサイズ用ペーパーカセット(PCP-CP100)が必要です。

パソコンを使って、文字を入れれば、年賀状やグリーティングカードも簡単です。必ず専用の用紙をお使いください。(公社製はがきは使えません)

ダイナミック!『ワイドサイズ用紙』

100×200mmの大きな用紙で迫力のある写真が仕上がります。

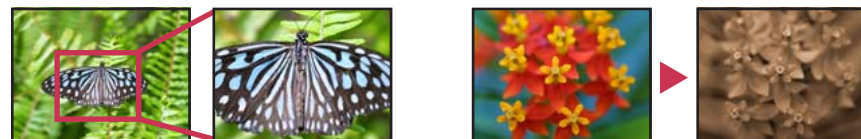
・別売のワイドサイズ用ペーパーカセット(PCW-CP100)が必要です。

カメラのスティッチアシスト機能と、付属のパソコン用アプリケーション「PhotoStitch」を使えば、より雄大な視点の画像を作ることができます。

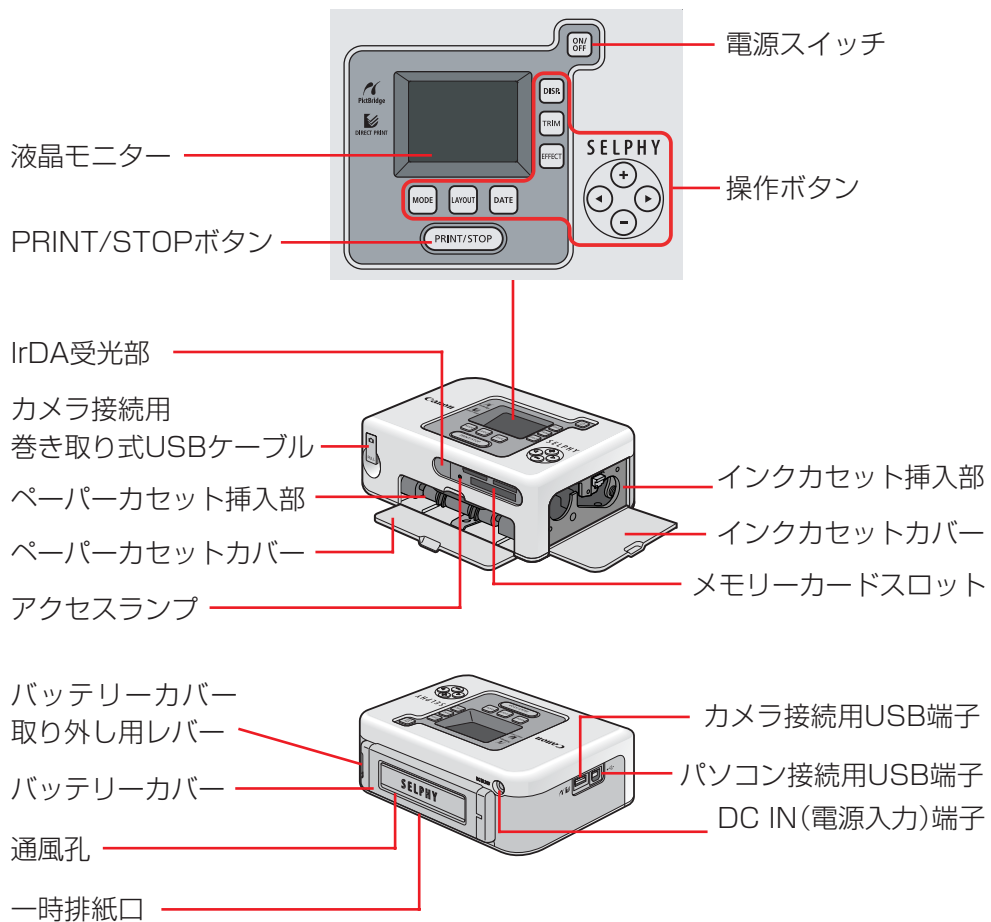
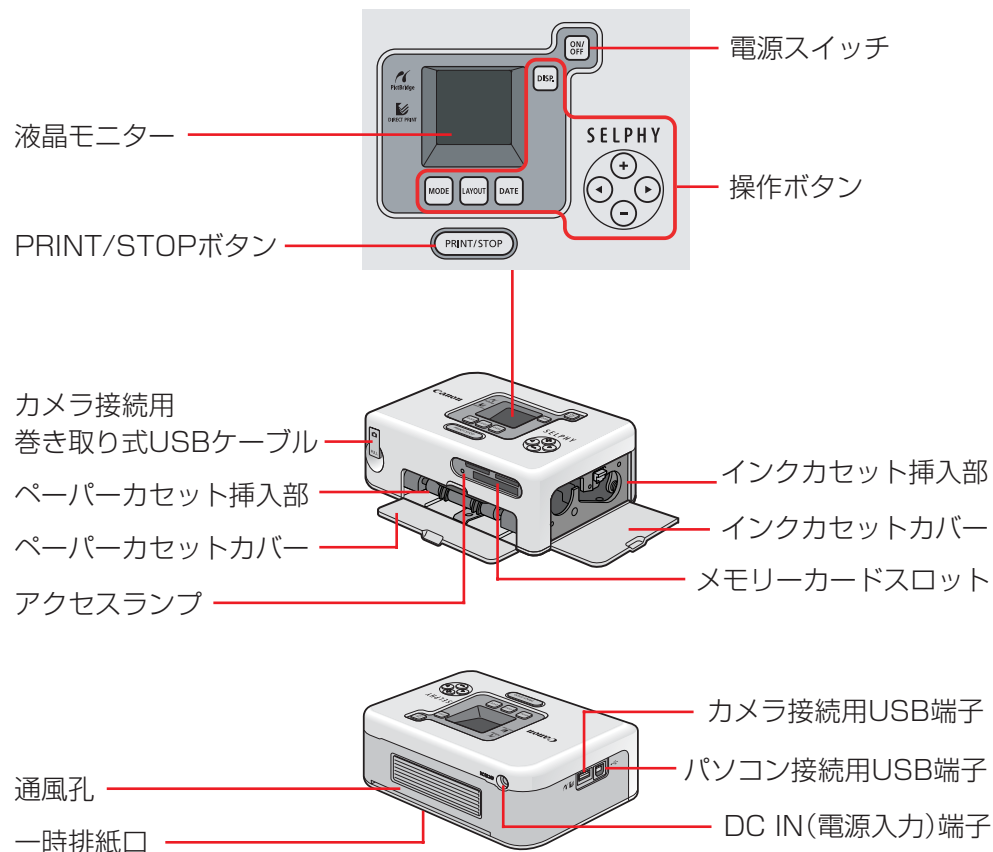
インデックス印刷、複数面印刷

インデックス(画像の一覧)の印刷や、1枚の用紙に複数の画像を印刷することもできます。

さらにCP730なら

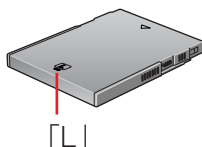
お使いのプリンターがCP730なら、画像の一部分だけを拡大印刷(トリミング)したり、画像にマイカラーの効果をつけることができます。

各部の名称と機能

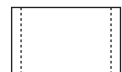
プリンターの各部の名称とその機能です。

SELPHY CP730

SELPHY CP720

用紙サイズと別売品

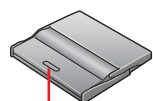
用途に合わせて用紙をお選びください。

L サイズ用紙

使用するペーパーカセット：
付属のLサイズ用ペーパーカセット

「L」

標準紙＋インク：

カラーインク/ペーパーセット KL-36IP(36枚入)
カラーインク/ペーパーセット KL-36IP 3パック(108枚入)

カードサイズ用紙

使用するペーパーカセット：
付属のカードサイズ用
ペーパーカセット

「CARD SIZE」

標準紙＋インク：

カラーインク/ペーパーセット KC-36IP(36枚入)

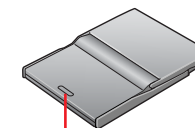
全面ラベル紙＋インク：

カラーインク/フルサイズラベルセット KC-18IF(18枚入)

8分割ラベル紙＋インク：

カラーインク/ラベルセット KC-18IL(18枚入)

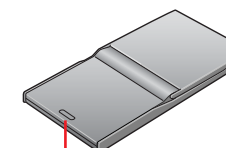
ポストカードサイズ用紙

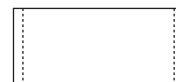
使用するペーパーカセット：
別売のポストカードサイズ用
ペーパーカセット PCP-CP100

「POSTCARD SIZE」

標準紙＋インク：

カラーインク/ペーパーセット KP-36IP(36枚入)

ワイドサイズ用紙

使用するペーパーカセット：
別売のワイドサイズ用
ペーパーカセット PCW-CP100

「WIDE」

標準紙＋インク：

カラーインク/ペーパーセット KW-24IP(24枚入)

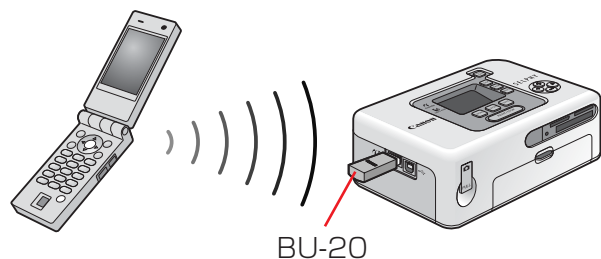
・純正以外の用紙、ペーパーカセット、インクカセットは、使用できません。

・用紙のサイズは、Lサイズ：89×119mm、カードサイズ：54×86mm、ポストカードサイズ：100×148mm、ワイドサイズ：100×200mmです。

その他の別売品

セルフィーの可能性を拡げる別売品を紹介します。

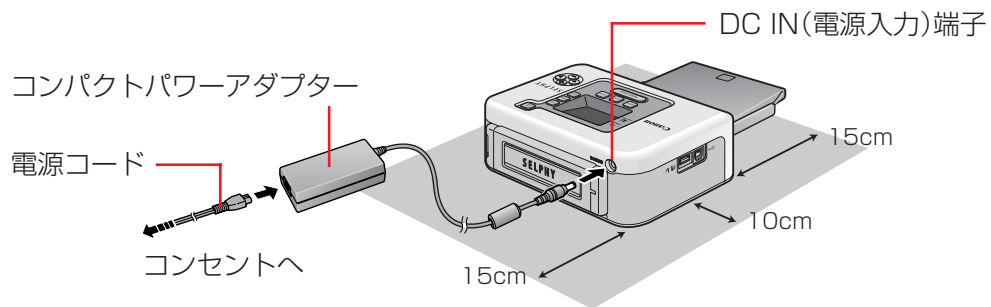
Bluetoothユニット

Bluetoothユニット(BU-20)を取り付ければ、Bluetooth対応の携帯電話やPDAから、ケーブルを接続することなく印刷できます。

印刷方法については、「印刷操作」の「無線を使った印刷」をご覧ください。

CPプリンターケース CPC-1

プリンターの収納や持ち運びに便利な専用ケースです。

設置

安全にお使いいただくために、セルフィーは、次のように設置してください。

前後15cm、左右10cm以上のスペースを空けて設置してください

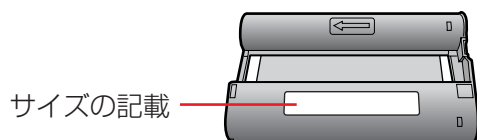
- ぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m以上離してください。
- 背面の通風孔をふさがないようにしてください。

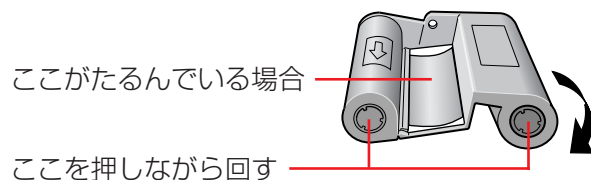
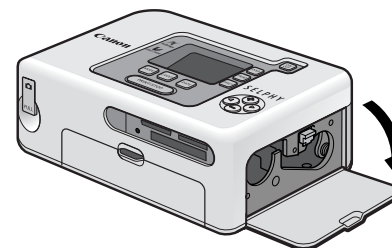
- CP730の場合は、付属のバッテリーパックもご使用いただけます。

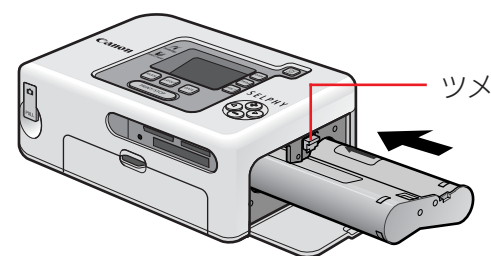
インクカセットの準備

インクカセットは、次の手順で取り付けます。

1 インクカセットのサイズを確認します。

印刷する用紙サイズに合ったインクカセットを用意します。

2 インクシートにたるみがないか確認します。

たるみがある場合は、次の部分を軽く回してください。
回しすぎると、枚数分印刷できなくなりますのでご注意ください。

3 インクカセットカバーを開きます。

4 インクカセットをカチッと音がするまで差し込み、インクカセットカバーを閉じます。

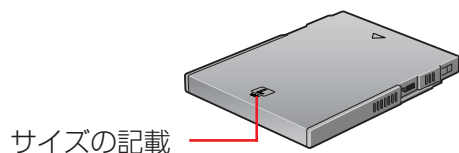
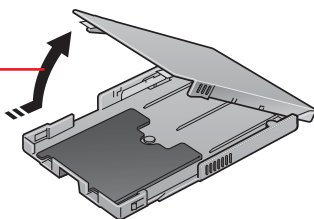
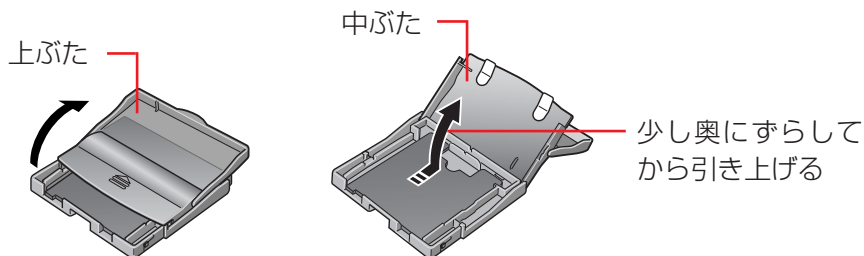
インクカセットを取り出す場合は、ツメを上に動かします。

- インクカセットのインクシートに触れたり、インクシートを引っ張り出したりしないようにしてください。枚数分印刷できなくなります。
- 使い切ったインクカセットは、絶対に再使用しないでください。誤動作や故障の原因になります。

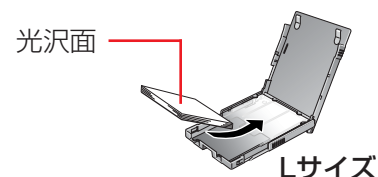
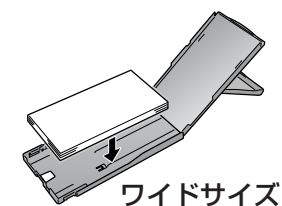
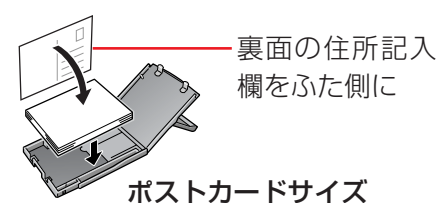
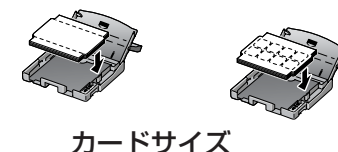
ペーパーカセットの準備

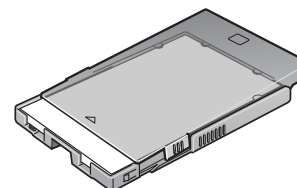
用紙をペーパーカセットに入れ、プリンターに取り付ける手順です。

用紙をペーパーカセットに入れる

1 ペーパーカセットのサイズを確認します。

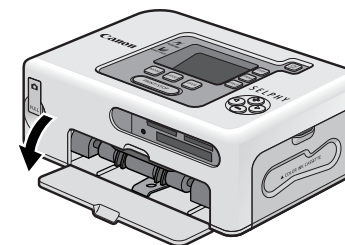
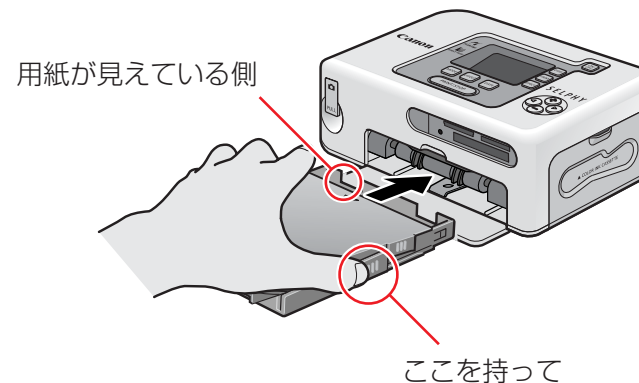
印刷する用紙サイズに合ったペーパーカセットを用意します。

2 ペーパーカセットのふたを開けます。

2つのふた（中ぶた、上ぶた）のあるタイプのペーパーカセットは、次のように開けます。

3 用紙を軽くさばいた後、光沢面を上にしてペーパーカセットに入れます。

用紙についている保護シートは取り除いてください。
光沢面には触れないようにしてください。

ツメの下に用紙を入れます。

4 ふたを閉じます。

図のように少しずらした状態にします。

2つのふたのあるタイプのペーパーカセットの場合は、中ぶただけを閉じ、カチッと音がするまで手前にずらしてください

- 用紙は専用のものをお使いください。公社製はがきなど市販の用紙は使えません。
- ペーパーカセットに19枚以上(ワイドサイズは13枚以上)の用紙を入れると、給紙できなかったり、紙詰まりの原因になります。
- 用紙の裏表を間違えると、きれいに印刷されません。また、故障の原因にもなります。
- 印刷前に用紙をミシン目で折り曲げたり、切り離したりしないでください。
- はがれかけたラベル紙や、はがした部分のあるラベル紙を使わないでください。
- 一度印刷した用紙を再使用しないでください。
- 印刷前の用紙に文字などを書き込まないでください。誤動作の原因になります。

ペーパーカセットの取り付け

1 ペーパーカセットカバーを開きます。

2 ペーパーカセットを奥に当たるまで差し込みます。

印刷に関するご注意

印刷時に気をつけていただきたいことを説明します。

「メモリーカードからの印刷」、「カメラからの印刷」、「パソコンからの印刷」、「無線を使った印刷」のすべてに共通の注意事項です。

- 印刷中にペーパーカセットを抜いたり、インクカセットカバーを開けたりしないでください。故障の原因になります。
- 印刷時、用紙は前後に4回動きます。このとき用紙に触れたり、引っ張ったりしないでください。けがや故障の原因になることがあります。
- ペーパーカセットに19枚以上(ワイドサイズの場合は13枚以上)の用紙を入れないでください。また、印刷された用紙を用紙受け部(ペーパーカセットの上)に10枚以上ためないようにしてください。
- プリンター内部が一定以上の温度になると、一時的に印刷が中断することがあります。温度が下がると自動的に印刷が再開されますので、しばらくお待ちください。(周囲の温度が高い場合や、連続して多くの枚数を印刷している場合などに発生することがあります)

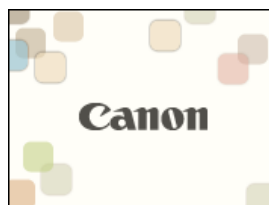
メモリーカードからの印刷

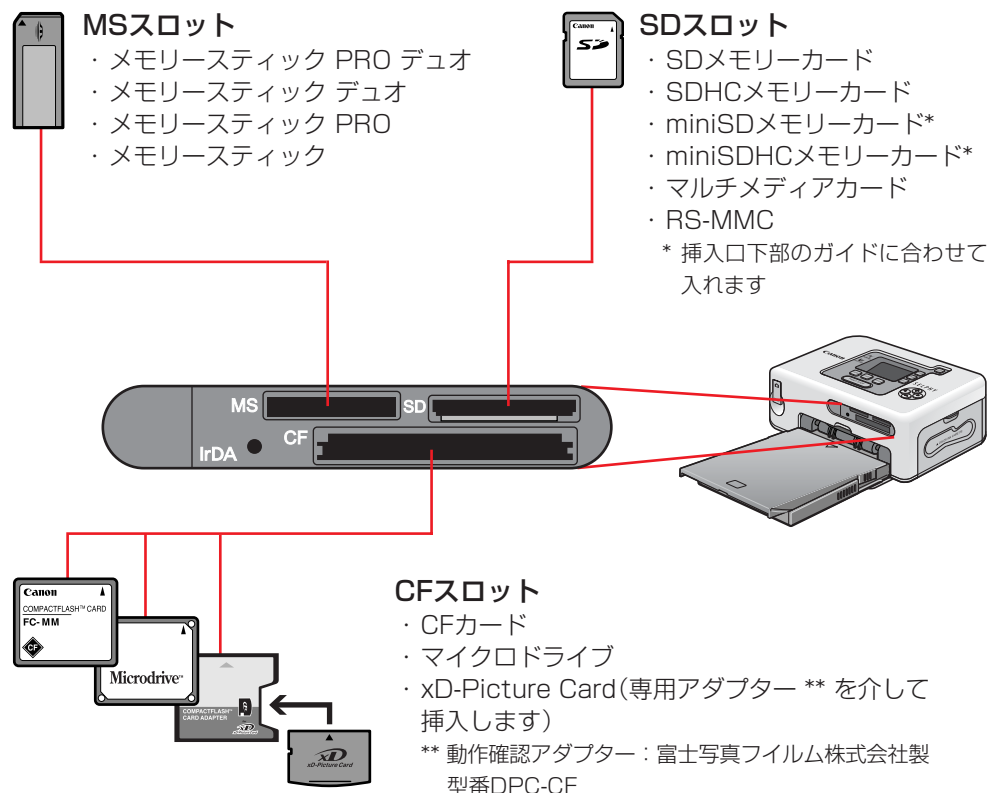
カメラや携帯電話から取り出したメモリーカードの画像を印刷する操作です。

- セルフィーは、DCF規格の画像データ(Exif 準拠)、およびDPOF(Ver 1.00準拠)に対応しています。
- カメラで初期化したメモリーカードをお使いください。パソコンで初期化したメモリーカードの場合、画像を認識できないことがあります。

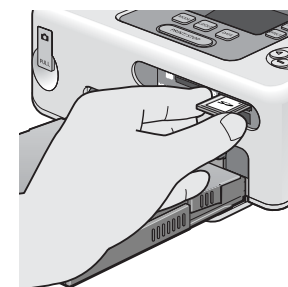
メモリーカードの入れかた

1 **液晶モニターに次の画面が表示されるまで電源スイッチを押します。**

Canon

2 **メモリーカードをラベル面を上にしてカードスロットに差し込みます。**

メモリーカードは、カードスロットから少しはみ出している状態となります。
アクセスランプが緑色に点滅し、液晶モニターにはメモリーカードに保存されている画像が表示されます。
同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。

メモリーカードの取り出しかた

1 **スロットから出ている部分をつまんで、引き抜きます。**

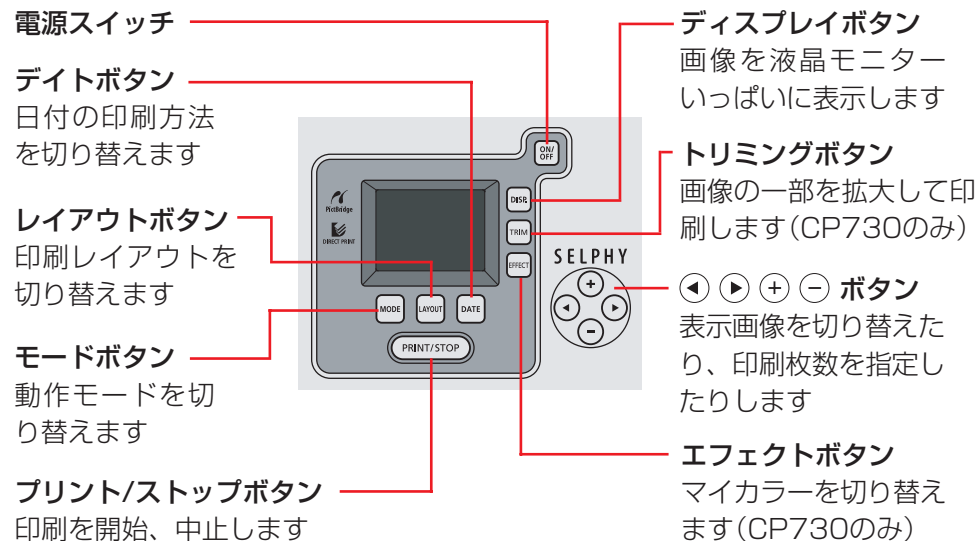
- アクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。

液晶モニターの表示

液晶モニターには、次のような情報が表示されます。

CP730の場合

CP720の場合

・上記のように、CP730とCP720では一部液晶モニターの表示が異なりますが、基本的な構成要素は同じです。以降の説明では、CP730の液晶モニターの表示を例にして説明を進めます。

操作ボタンの機能

フル画面表示

画像の選択時、印刷情報の表示を消して、画像を液晶モニターいっぱいに表示することができます。画像の細かな部分を確認したいときなどにご活用ください。

1 **DISP.ボタンを押します。**

もう一度、**DISP.**ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

動作モードの選択と印刷操作

動作モードを選択して印刷を実行します。

- （シングル）：　表示中の画像を1枚印刷します。
- （セレクト）：　選択した画像を指定した枚数分印刷します。
- （オール）：　すべての画像を1枚ずつ印刷します。
- （DPOF）：　カメラ側で指定したDPOF（Digital Print Order Format）情報にしたがって印刷します。DPOFの設定方法については、お使いのカメラに付属の使用説明書をご覧ください。

・セルフィーは、撮影時に記録された撮影情報を利用して、よりきれいな印刷を行います。この処理を使わない場合は、**DATE**ボタンを押しながら（PRINT/STOP）を押し、印刷をはじめてください。

表示中の画像を1枚印刷する（シングル）

1 液晶モニターで、動作モードが（シングル）になっていることを確認します。

他のモードになっている場合には、**MODE**ボタンを押して切り替えます。

2 ◀ ▶ を押して、印刷する画像を選択します。

ボタンを押し続けると、すばやく画像が切り替わります。

3 必要に応じて、印刷レイアウト、日付印刷、トリミング、マイカラーを設定します。

トリミング、マイカラーは、CP730のみの機能です。

4 （PRINT/STOP）を押します。

印刷がはじまります。

指定した画像を指定した枚数分印刷する（セレクト）

1 **MODEボタンを使って、動作モードを（セレクト）に切り替えます。**

2 **◀ ▶ を押して、印刷する画像を選択します。**

ボタンを押し続けると、すばやく画像が切り替わります。

3 **⊕ ⊖ を押して、印刷する枚数を指定します。**

ボタンを押し続けると、すばやく印刷枚数が変化します。

4 **手順2～3を繰り返して、印刷したいすべての画像の枚数設定を行います。**

5 **必要に応じて、印刷レイアウト、日付印刷、マイカラーを設定します。**

ここで設定した印刷レイアウト、日付印刷、マイカラーの設定は、手順3～4で設定したすべての画像に適用されます。
マイカラーは、CP730のみの機能です。

6 **液晶モニターで設定内容を確認します。**

ペーパーカセットに必要な枚数の用紙が入っていることを確認してください。

印刷される用紙枚数

7 **PRINT/STOP を押します。**

印刷がはじまります。
印刷が終了すると、すべての枚数設定は0枚に戻ります。

すべての画像を1枚ずつ印刷する(オール)

1 **MODEボタンを使って、動作モードを (オール)に切り替えます。**

2 **必要に応じて、印刷レイアウト、日付印刷、マイカラーを設定します。**
ここで設定した印刷レイアウト、日付印刷、マイカラーの設定は、すべての画像に適用されます。
マイカラーは、CP730のみの機能です。

3 **液晶モニターで設定内容を確認します。**
ペーパーカセットに必要な枚数の用紙が入っていることを確認してください。

4 **PRINT/STOP を押します。**
印刷がはじまります。

・動作モードで (オール)を選択し、印刷レイアウトで (インデックス)を選択して印刷すると、メモリーカード内の全画像の一覧を印刷することができます。

カメラで指定して印刷する(DPOF)

1 **お使いのカメラを使って、印刷したい画像を選び、印刷枚数などを設定します。**
印刷指定の方法は、お使いのカメラによって異なります。カメラの使用説明書をご覧ください。

2 **MODEボタンを使って、動作モードを (DPOF)に切り替えます。**
メモリーカードにDPOF情報が設定されていない場合、[DPOF]は選択できません。

3 **PRINT/STOP を押します。**
印刷がはじまります。

・日付印刷の設定はDPOF情報にしたがいます。**DATE**ボタンでは設定できません。 また、レイアウトも指定できません。

印刷レイアウトの設定

印刷レイアウトを選択します。

（フチなし）： フチなしで印刷します。

（フチあり）： 白いフチを付けて印刷します。

（2面配置）： 1枚の用紙に、2つの画像を印刷します。

（4面配置）： 1枚の用紙に、4つの画像を印刷します。

（8面配置）： 1枚の用紙に、8つの画像を印刷します。

カードサイズの用紙の場合

（インデックス）：

1枚の用紙に、8つの画像を画像番号を付けて印刷します。

（カードサイズの用紙の場合、画像番号は入りません）

1 LAYOUTボタンを使って、印刷レイアウトを選択します。

選択した印刷レイアウトによって、用紙の枚数が変化します

- 動作モードが（シングル）の場合、（2面配置）、（4面配置）、（インデックス）は選択できません。
- 動作モードで（シングル）を選択し、印刷レイアウトで（8面配置）を選択した場合には、同じ画像が8つ印刷されます。8分割ラベル紙で、同じ画像のシールを作るときなどにお使いください。

日付印刷の設定

日付印刷の有無、形式を選択します。

（日付なし）：

日付を印刷しません。

（年/月/日）：

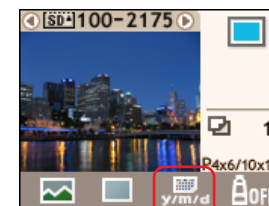
年/月/日の形式で、日付を印刷します。

（月/日/年）：

月/日/年の形式で、日付を印刷します。

（日/月/年）：

日/月/年の形式で、日付を印刷します。

1 **DATEボタンを使って、日付印刷を選択します。**

・日付として印刷される撮影日は、Exif情報として各画像ファイルに含まれている撮影日付です。
画像ファイルにExif情報がない場合には、ファイル作成日を日付として印刷します。
・印刷レイアウトで　（インデックス）を選択している場合、日付印刷はできません。
・カードサイズの用紙に　（8面配置）で印刷する場合、日付印刷はできません。

マイカラーの設定（CP730 のみ）

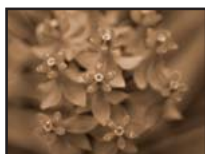
画像に色効果を付けます。

（マイカラーなし）：

マイカラーを使いません。

（白黒）：

画像を白黒に変換して印刷します。

（セピア）：

画像をセピア（茶色がかった色調）に変換して印刷します。

（くっきりカラー）：

画像の色合いを鮮やかにして印刷します。

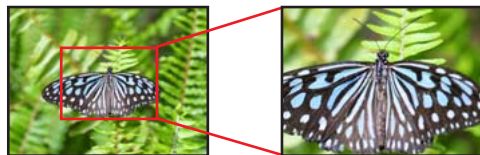
（すっきりカラー）：

画像の色合いを抑えて印刷します。

1 **EFFECTボタンを使って、使いたいマイカラーを選択します。**

・動作モードが （DPOF）の場合、マイカラーは使えません。

トリミングの設定（CP730のみ）

印刷する範囲を指定します。

・トリミングは、動作モードが （シングル）に設定されている場合にのみ使用できます。

1 TRIM.ボタンを押します。

画像が液晶モニターいっぱいに表示されます。

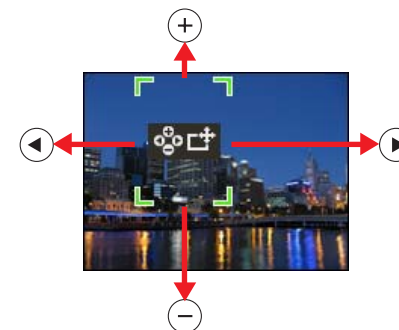
2 DISP.ボタンを押します。

印刷範囲の大きさと方向を設定する状態に変わります。

3 ⊕ ⊖ で印刷範囲の大きさを調整します。◀ ▶ で枠が90度回転します。

4 DISP.ボタンを押します。

印刷範囲の位置を指定する状態に変わります。

5 ◀ ▶ ⊕ ⊖ を使って、印刷範囲の位置を調整します。

6 印刷範囲の設定が終わったらTRIM.ボタンを押します。

トリミングの設定が完了します。

・トリミングを解除する場合は、「印刷範囲の大きさと方向を設定する状態」にした後、印刷範囲の枠が消えるまで ⊕ を押します。
・印刷が終わると、トリミングの設定は解除されます。

カメラからの印刷

プリンターにカメラを接続して印刷する操作です。

カメラの確認

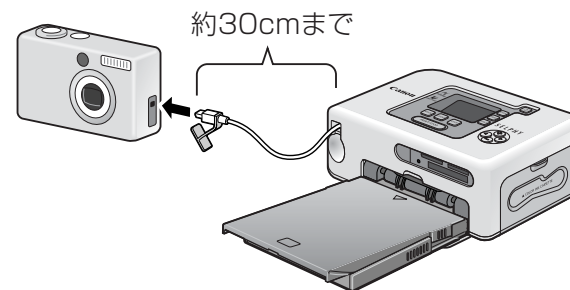
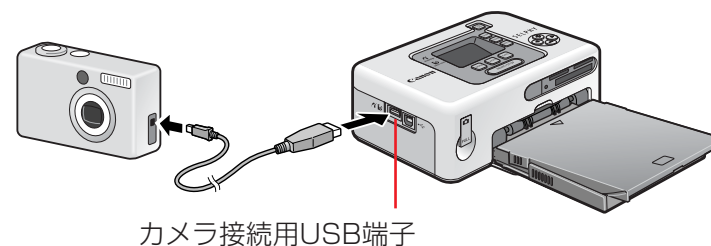
この方法で印刷が可能なカメラは、カメラとプリンターを接続したとき、カメラの液晶モニターに、次のような （ピクトブリッジマーク）、または （ダイレクトプリントマーク）が表示されます。

・PictBridgeは、メーカーや機種に関係なく、デジタルカメラやビデオカメラを直接プリンターに接続し、カメラの画像をパソコンを使わずにダイレクトプリントするために決められた標準規格です。

カメラの接続

次のようにプリンターとカメラを接続します。

・プリンターとカメラを接続する前に、プリンターにメモリーカードが入っていないこと、プリンターがパソコンに接続されていないことを確認してください。

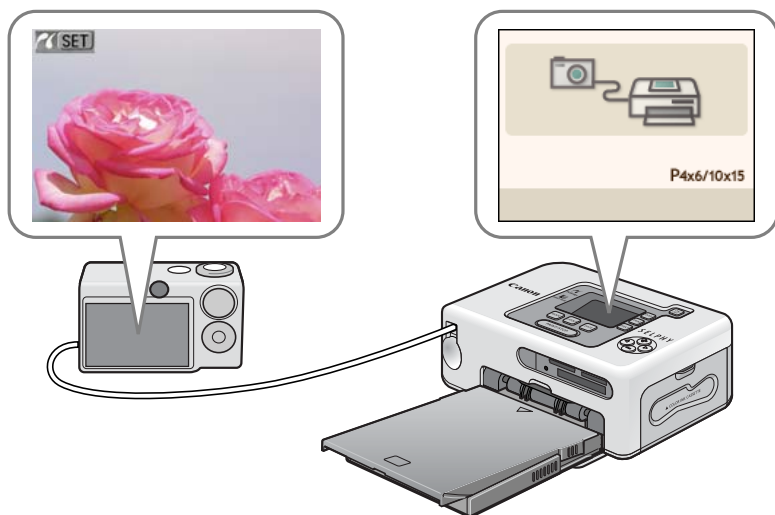
1 プリンターから巻き取り式USBケーブルを引き出し、カメラに接続します。

巻き取り式のUSBケーブルのコネクタの形状が、カメラと合わない場合は、カメラに付属のUSBケーブルで接続します。

・カメラとプリンターを接続する場合には、カメラの電池切れで印刷が中断してしまうことを避けるため、カメラの電源を電源コンセントから取ることをおすすめします。バッテリーまたは電池をお使いになるときは、フル充電されたバッテリーまたは新品の電池をお使いください。
・巻き取り式USBケーブルを巻き取るには、ケーブルを手前に軽く引いたあと、手を離してください。
・ケーブルは約30ｃｍまで引き出せます。それ以上引き出すと故障の原因になりますのでご注意ください。

カメラから印刷

ここでは、キヤノン製カメラを例にして、操作の流れを簡単に説明します。詳しい操作方法については、お使いのカメラの使用説明書（キヤノン製カメラをお使いの場合には「カメラユーザーガイド」や「ダイレクトプリントユーザーガイド」）をご覧ください。

1 液晶モニターに画面が表示されるまで電源スイッチを押します。

2 カメラの電源を入れ、画像を再生する状態にします。

カメラの液晶モニターに（ピクトブリッジマーク）、または（ダイレクトプリントマーク）が表示されます。

3 （イージーダイレクト）ボタンを押します。

カメラによっては、（イージーダイレクト）ボタンのかわりに、**SET**ボタンを2回押します。

印刷がはじまります。

USBケーブルを取り外すときは、先にプリンターの電源スイッチを長めに押して電源を切ってください。

・ワイドサイズの用紙に印刷する場合、カメラの液晶モニターに表示されるマーク（、）によって、印刷範囲が異なります。

（ピクトブリッジマーク）が表示された場合は、用紙全面に印刷されます。

（ダイレクトプリントマーク）が表示された場合は、用紙右端が空白になります。（油性ペンなどで文字を書き込むことができます）

さまざまな設定での印刷

キヤノン製カメラをお使いの場合には、次のような設定を行って印刷することができます。（機種によっては対応していない場合もあります）
詳しい操作方法については、「カメラユーザーガイド」や「ダイレクトプリントユーザーガイド」をご覧ください。

1 カメラの液晶モニターに、（ピクトブリッジマーク）、または（ダイレクトプリントマーク）が表示されていることを確認します。

2 SETボタンを押します。

カメラの液晶モニターに次のような画面が表示されます。
必要に応じて、設定を変更します。

（ピクトブリッジマーク）が表示された場合

日付、画像番号の印刷の設定
印刷枚数の設定
用紙サイズ、タイプ、レイアウトの設定

（ダイレクトプリントマーク）が表示された場合

印刷枚数の設定
トリミングの設定

3 ［印刷］を選択し、SETボタンを押します。

印刷がはじまります。

- **IDフォト**
  ［用紙設定］または［スタイル］の設定で、［IDフォト］を選択すれば、指定した大きさの証明写真を印刷することができます。

- **ムービープリント**
  動画ファイルから一定間隔でコマを静止画として抜き出し、1枚の用紙に並べて印刷することができます。

動画を選択して（イージーダイレクト）ボタンを押します。

・IDフォト、ムービープリントについては、カメラに付属の「ダイレクトプリントユーザーガイド」をご覧ください。

パソコンからの印刷

プリンターをパソコンに接続して印刷する操作です。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンから印刷を行うには、パソコンが次の条件を満たしている必要があります。

Windows

OS： Windows 2000 Service Pack 4
Windows XP（Service Pack 1、Service Pack 2を含む）

機種： 上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること

CPU： Pentium 500MHz以上

RAM： 256MB以上

インターフェース： USB

ハードディスク空き容量： Canon Utilities
ZoomBrowser EX： 200MB以上
Easy-PhotoPrint： 65MB以上
PhotoStitch： 40MB以上
Canon SELPHY プリンタードライバ：4MB以上
（インストール時に必要な容量）

ディスプレイ： 1,024×768ドット以上
High Color（16bit）以上

Macintosh

OS： Mac OS X（v10.2～v10.4）

機種： 上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること

CPU： PowerPC G3/G4/G5またはIntelプロセッサー*

RAM： 256MB以上

インターフェース： USB

ハードディスク空き容量： Canon Utilities
ImageBrowser： 200MB以上
PhotoStitch： 40MB以上
Canon SELPHY プリンタードライバ：4MB以上
（インストール時に必要な容量）

ディスプレイ： 1,024×768ドット以上
32,000色以上

* EOS Utility （EOS DIGITALシリーズ用のソフトウェア）はPowerPCのみに対応しています。

・記載のシステム環境を満たしたすべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
・Macintosh用のソフトウェアは、UFS（Unix File System）でフォーマットされたディスクでは使えません。

・ここでは、Windows XPおよびMac OS X（v10.3）を使って説明を進めていきます。お使いのOSのバージョンによっては、操作手順や画面が多少異なる場合があります。

パソコンから印刷するときの注意

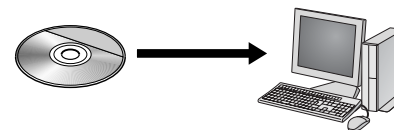
次のような点にご注意ください。

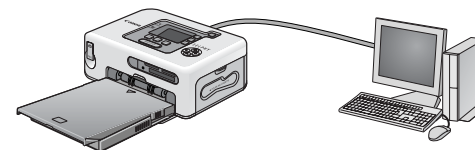
- プリンターをパソコンに接続する前に、プリンターにメモリーカードが入っていないこと、プリンターにカメラが接続されていないことを確認してください。
- USBケーブルで、プリンターとパソコン本体とを直接、接続してください。 USBハブを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- 他のUSB機器（USBマウス、USBキーボードを除く）と同時に使用すると、正しく動作しないことがあります。 他のUSB機器をパソコンから外して、再度接続してください。
- プリンターをパソコンのUSBポートに接続している状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。プリンターをパソコンのUSBポートに接続している状態で、パソコンをスタンバイ状態にしてしまった場合には、USBケーブルをパソコンに接続したまま、スタンバイ状態から回復してください。

操作の流れ

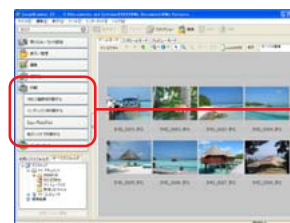
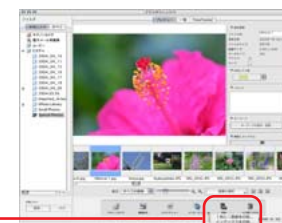
パソコンから印刷するときは、次のような操作を行います。実際の操作方法については、「基本・活用・おたのしみガイド」をご覧ください。

ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROM「Compact Photo Printer Solution Disk」を使って、印刷に必要なソフトウェアをパソコンにインストールします。

パソコンとの接続

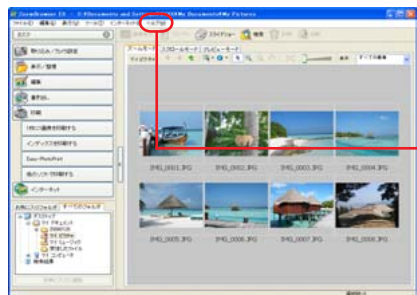
市販のUSBケーブルで、パソコンとプリンターを接続します。

アプリケーションソフトウェアからの印刷

ZoomBrowser EXやEasy-PhotoPrint（Windows）、ImageBrowser（Macintosh）などのアプリケーションソフトウェアから印刷を行います。

ZoomBrowser EX

ImageBrowser

ここから印刷

付属のソフトウェアのご紹介

Windows

ZoomBrowser EX

画像の管理、閲覧、編集、書き出しなどが可能な多機能ソフトです。

印刷操作については、[ヘルプ]メニューの[ZoomBrowser EX ヘルプ]▶[ZoomBrowser EXの基本機能]をご覧ください

Easy-PhotoPrint

簡単操作でさまざまなレイアウトの印刷ができる便利なソフトです。

印刷操作については、[3 レイアウト/印刷]タブの画面で、[?]ボタンをクリックすると表示されるヘルプをご覧ください

・ZoomBrowser EX(Windows)とImageBroser(Macintosh)の詳しい操作説明は、下記のウェブサイトからダウンロードすることができます。
http://web.canon.jp/Imaging/information-j.html

Macintosh

ImageBrowser

画像の管理、閲覧、編集、書き出しなどが可能な多機能ソフトです。

印刷操作については、[ヘルプ]メニューの[ImageBrowserヘルプ]の中の印刷に関する項目をご覧ください

Windows、Macintosh共通

PhotoStitch

カメラのスティッチアシストモードなどを使って撮影した複数枚の画像から、一枚のパノラマ画像を合成するソフトです。合成した画像をワイドサイズ用紙に印刷すれば、ダイナミックなパノラマ写真のできあがりです。(PhotoStitchに印刷機能はありません)

無線を使った印刷

IrDA や Bluetooth、無線 LAN など無線通信で印刷する操作です。

・プリンターにメモリーカードが入っている場合、プリンターにカメラまたはパソコンが接続されている場合は、無線での印刷はできません。
・パソコンとプリンターを無線で接続することはできません。
・送信できる画像のファイル容量は最大4MBです。

IrDA を使った印刷（CP730 のみ）

IrDA（赤外線通信機能）対応の携帯電話から画像を印刷します。

使用できる機器

IrDAで印刷するために必要な機能が、お使いの携帯電話に搭載されているかご確認ください。また、動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/selphy/ をご覧ください。

条件1：	IrDA対応の赤外線通信ポートを内蔵していること。
条件2：	画像データ（ファイル容量4MB 以下のJPEG）の撮影、保存が可能なカメラ機能を搭載していること。

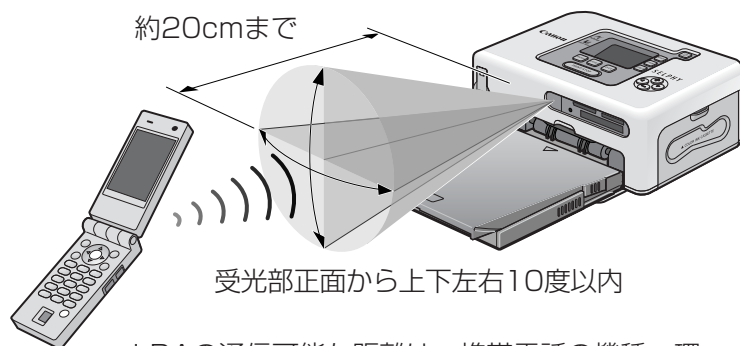
・大きいサイズの画像を送信すると、送信時間が5分以上かかる場合があります。
・メールや電話帳の内容は印刷できません。
・携帯電話のセキュリティ設定のため、インターネットからダウンロードした画像や、メールに添付されたURLからダウンロードした画像等は印刷できません。
・動画は印刷できません。
・お使いの携帯電話の機種によっては、メモリーカードに保存した画像を印刷できない場合があります。
・印刷される画像の品位と印刷される向き（縦または横）は、プリンターで自動的に設定されます。用紙サイズに合わせて撮影した画像を拡大・縮小するため、画像サイズと用紙サイズの組み合わせによっては、上下左右が切り取られて印刷されることがあります。
・画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
・携帯電話との通信を開始したあと、印刷が終了する前に、カメラやパソコンから印刷操作をしないでください。

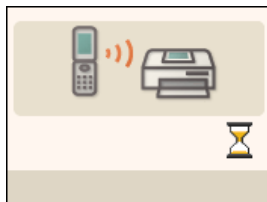
・送信の操作は、携帯電話側で行います。お使いの携帯電話の使用説明書をあわせてご覧ください。

1 プリンターにメモリーカードやBluetoothユニットが差し込まれていないこと、USBケーブルでカメラが接続されていないことを確認します。

2 液晶モニターに画面が表示されるまで電源スイッチを押します。

3 **携帯電話の赤外線ポートをプリンターのIrDA受光部に向け、携帯電話で送信の操作を行います。**

IrDAの設定方法や送信方法については、携帯電話に付属の使用説明書をご覧ください。

IrDAの通信可能な距離は、携帯電話の機種、環境によって変化します

通信中は、プリンターの液晶モニターに次のような画面が表示され、電源ボタンが緑色に点滅します。データがうまく転送できないときは、携帯電話を赤外線通信ポート正面に近づけてやり直してください。

通信が終わると、印刷がはじまります。

Bluetooth を使った印刷

Bluetooth対応の携帯電話やPDA(Personal Digital Assistants：携帯情報端末)を使って画像を印刷します。

使用できる機器

Bluetoothで印刷するために必要な機能が、お使いの携帯電話やPDAに搭載されているかご確認ください。また、動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/selphy/ をご覧ください。

条件1：　Bluetooth を内蔵し、プロファイルがOPP(Object Push Profile)またはBIP (Basic ImagingProfile)に対応していること。(対応プロファイルについては、ご使用の携帯電話の使用説明書をご覧ください)

条件2：　画像データ(ファイル容量4MB 以下のJPEG)の撮影、保存が可能なカメラ機能を搭載していること。

- メールや電話帳の内容は印刷できません。
- 携帯電話のセキュリティ設定のため、インターネットからダウンロードした画像や、メールに添付されたURLからダウンロードした画像等は印刷できません。
- 動画は印刷できません。
- お使いの携帯電話の機種によっては、メモリーカードに保存した画像を印刷できない場合があります。
- 印刷される画像の品位と印刷される向き(縦または横)は、プリンターで自動的に設定されます。用紙サイズに合わせて撮影した画像を拡大・縮小するため、画像サイズと用紙サイズの組み合わせによっては、上下左右が切り取られて印刷されることがあります。
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
- 携帯電話との通信を開始したあと、印刷が終了する前に、カメラやパソコンから印刷操作をしないでください。

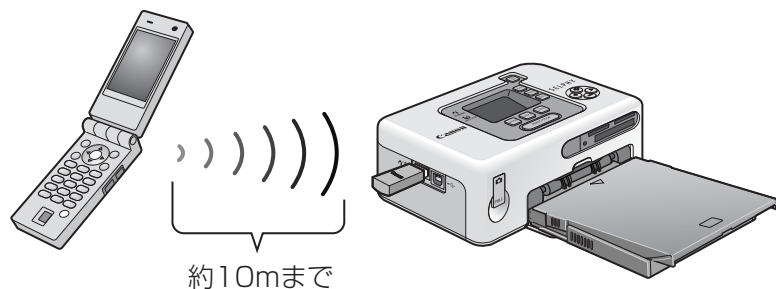
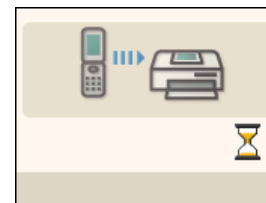
・送信の操作は、携帯電話やPDA側で行います。お使いの携帯電話やPDAの使用説明書をあわせてご覧ください。

1 **プリンターにメモリーカードが差し込まれていないこと、USBケーブルでカメラが接続されていないことを確認します。**

2 **別売のBluetoothユニット(BU-20)が取り付けられていることを確認します。**

3 **液晶モニターに画面が表示されるまで電源スイッチを押します。**

4 **Bluetooth対応の携帯電話やPDAで送信の操作を行います。**

Bluetoothの接続方法や送信方法については、Bluetooth機器に付属の使用説明書をご覧ください。
携帯電話から接続先の機種名を選択する場合は「Canon CP730/CP720-xx:xx:xx(x は1 桁の数字)」を選んでください。
Bluetoothの通信可能な距離は約10mです。(環境によって変化します)

通信中は、プリンターの液晶モニターに次のような画面が表示されます。また、Bluetooth ユニット BU-20 が青色に点滅します。通信中は、Bluetooth 通信の接続を切断しないでください。もし、切断した場合はプリンターの電源を切ってから、送信をやり直してください。

通信が終わると、印刷がはじまります。

Bluetoothを使った印刷を終了するときは、Bluetoothユニットをプリンターから取り外すか、プリンターの電源を切ります。

無線 LAN を使った印刷

無線LAN対応のIXY DIGITAL WIRELESSとワイヤレスプリントアダプター（WA-1）を使って、画像を印刷します。

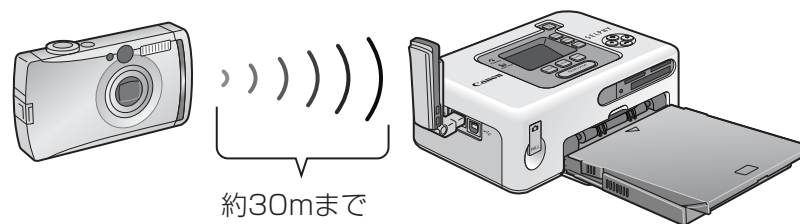
・印刷操作は、カメラ側で行います。お使いのカメラの使用説明書をあわせてご覧ください。

1 プリンターにメモリーカードが差し込まれていないこと、USBケーブルでカメラが接続されていないことを確認します。

2 ワイヤレスプリントアダプター（WA-1）が取り付けられていることを確認します。

3 液晶モニターに画面が表示されるまで電源スイッチを押します。

4 無線LAN対応カメラで印刷の操作を行います。

無線LANの接続方法や印刷方法については、カメラに付属の使用説明書をご覧ください。
無線LANの送信可能な距離は約30mです。（環境によって変化します）

無線LANを使った印刷を終了するときは、ワイヤレスプリントアダプターをプリンターから取り外すか、プリンターの電源を切ります。

お手入れ、保管、移動の方法

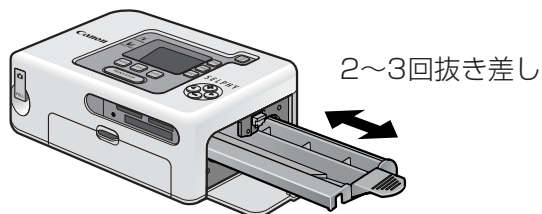
お手入れの方法、保管する方法、持ち運ぶ方法を説明します。

お手入れ方法

内部のお手入れ

印刷した画像に細い線が入る場合は、プリンター内部にほこりなどが付着している可能性があります。付属のクリーナーを使って取り除いてください。

1 インクカセットを取り出します。

2 クリーナーを矢印のある面を上にして奥まで差し込み、2～3回抜き差ししてください。

外装のお手入れ

乾いたやわらかい布で拭いてください。

・絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤、中性洗剤は使わないでください。外装ケースが変質したり、塗装が剥げることがあります。

背面のお手入れ

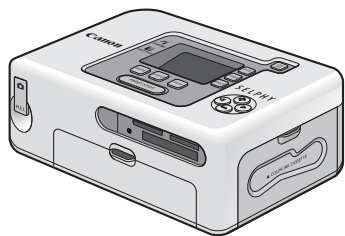
背面の通風孔のほこりを取ってください。
通風孔からほこりが入ると、インクシートにほこりがつき、きれいに印刷できません。
インクシートにほこりがついてしまった場合は、インクシートに触れないように、ブロアーブラシなどでほこりを落としてください。

保管方法

本機器

・コンパクトパワーアダプターの電源プラグを、コンセントから抜いてください。

・ペーパーカセットとインクカセットを、プリンターから取り外して保管してください。
ペーパーカセットは上ぶたを閉めて保管してください。また、用紙は取り出して、袋に入れてから元の箱に入れ、水平にして保管してください。
インクカセットは、ほこりのつかないように袋に入れて保管してください。

・プリンターにほこりが入らないよう、水平にして保管してください。

立てて保管する場合は、この向きにしてください

バッテリー

・バッテリーを使い切ってから、バッテリーパック端子カバーをつけ、湿度の低い室温(0〜30℃)で保管してください。
フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、プリンターで使い切ってから保管してください。

印刷した用紙

・アルバムに入れる場合は、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。
その他の材質の場合、変色や色移りすることがあります。

・画質が劣化することがありますので、次のような場所での保管は避けてください。
  ・高温(40℃以上)になる所
  ・湿気やほこりの多い所
  ・直射日光が当たる所

・保存状態や時間経過によっては変色することがあります。

持ち運び方法

・ペーパーカセットとインクカセットを取り出して、カバーを閉めてください。

・傷がつかないよう、やわらかい布などで包んで持ち運んでください。
プリンターにほこりが入るときれいに印刷できない場合があります。

バッテリーの使用方法（CP730のみ）

CP730に付属のバッテリーパックを取り付ければ、旅先などコンセントのないところで印刷することができます。

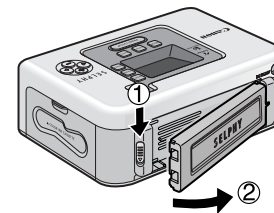
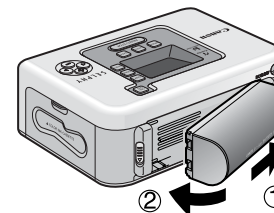
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されております。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

- バッテリーパックNB-CP1Lは、使用できません。
- バッテリーは、当社指定の製品以外には使用しないでください。
- バッテリーパックの端子カバーは、バッテリー保管時に必要となりますので、なくさないようにしてください。

バッテリーの取り付けかた

バッテリーパックNB-CP2L をプリンターに取り付けます。

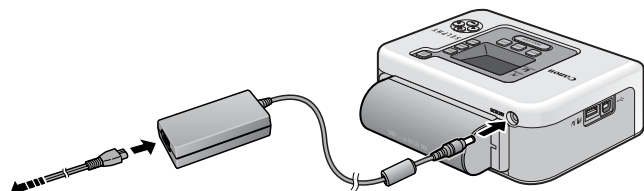
1 バッテリーパック端子カバーを取り外します。

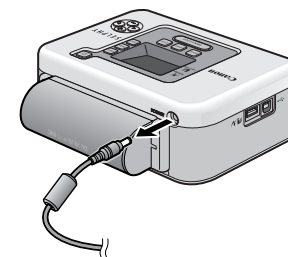
2 プリンターのバッテリーカバー取り外し用レバーを下に押して、バッテリーカバーを外します。

3 バッテリーをプリンターに取り付けます。
矢印の方向に差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

- バッテリーを外す場合は、バッテリーカバー取り外し用レバーを下に押してバッテリーを外し、バッテリーパック端子カバーを取り付けてください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電します。

1 バッテリーをプリンターに取り付けます。

2 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、プラグをコンセントに、コンパクトパワーアダプターのコネクタをプリンターに接続します。

充電中は電源スイッチが橙色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
充電中に電源スイッチを押してプリンターの電源を入れると、充電が停止します。電源を切ると、充電が再開します。

3 充電が完了したら、プリンターからコンパクトパワーアダプターのコネクタを抜きます。
これで、バッテリーを電源として印刷できます。

・バッテリーを電源としてお使いの場合、5分以上プリンターを使用しない状態が続くと、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量について

バッテリー残量が少なくなると、プリンターの電源スイッチが橙色に点滅します。
また、カメラの液晶モニターやプリンターの液晶モニターにメッセージが表示されます。
バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。

バッテリーの取り扱いについて

・バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

・リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。
  ・いつでも充電できます。

・バッテリーを使い切った状態からフル充電になるまでの時間は、約2時間30分です。(当社測定基準による)
  ・5〜40℃の範囲で充電してください。
  ・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

・使用する当日または前日に充電してください。
  ・充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

・規定の充電をしたにもかかわらず、使用できる時間が著しく低下するときは、寿命と考えられます。
  ・新しいバッテリーと交換してください。

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

・この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
・充電式のリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・充電式のリチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
「有限責任中間法人JBRC」および「キヤノン/ キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

リサイクル時のご注意
・電池を分解しないでください。

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電、故障などを防ぐため、後述の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

・ここでいう本機器とは、プリンター、コンパクトパワーアダプター、インクカセット、ペーパーカセット、用紙を指します。

警告
この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意
この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物に損傷が発生する可能性があることを示します。

△ 記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠ 記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図:分解禁止）

● 記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

本機器

警告

付属のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用CDプレーヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

・お子様の手の届かないところに保管してください。

・分解、改造しないでください。

・本機器を落としたり、外装を破損した場合は、そのまま使用しないでください。

・煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

・内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。
水滴がかかったり潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

・内部に金属物や燃えやすいものを落とし込んだり、入れたりしないでください。
すぐに機器本体の電源を切ってから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（バッテリーを使用している場合はバッテリーを外してください）

・雷が鳴り出したら本機器の金属物や電源プラグに触れないでください。
すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

・アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

・電源コードや電源プラグに重いものを載せたり、無理に引っ張ったりして、破損させないでください。

・本機器専用以外の電源（ACアダプター、バッテリー）は使用しないでください。

・電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

⚠ 注意

・プリンター内部には手を入れないでください。

・以下の場所で使用・保管しないでください。
湿気やほこりの多い所、振動が激しい所、火気の近くや直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところ。

・電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

・コンパクトパワーアダプターは、定格を超える使いかたや、指定の電圧以外で使用しないでください。また、電源プラグの差し込みが不十分なまま使用しないでください。
発熱、破裂の恐れがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

・使用しないときは、コンパクトパワーアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
長時間接続しておくと、発熱、変形する恐れがあります。

・印刷中はペーパーカセットを抜かないでください。

<電磁波による誤作動、破壊を防ぐために>
・本機器をモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。また、テレビやAMラジオの近くで使わないでください。

<結露を防ぐために>
・本機器を寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、本機器をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。

バッテリー（CP730のみ）

⚠ 警告

・火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。

・水や海水に濡らさないでください。

・分解、改造したり、加熱しないでください。

・落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

・指定外のバッテリーを使用しないでください。
バッテリーの破裂、液漏れの恐れがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

・プリンターを使用しないときは、バッテリーを取り外し、保管してください。

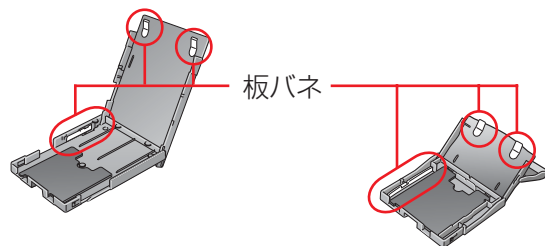
・テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。
長時間接続しておくと、発熱、変形の恐れがあります。

・廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。
廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の恐れがあります。

取り扱い上のご注意

本機器を扱うときに、気をつけていただきたいことを説明します。

本機器

・強い力や振動を加えないでください。
紙詰まりや故障の原因になります。
・印刷しないのに電源の入/切を繰り返さないでください。
プリンターの初期動作のため、インクが消費され、枚数分の印刷ができなくなることがあります。
・殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。
外装ケースが変質することがあります。
・汗や水のついた手で、インクカセットを持たないでください。
・ペーパーカセットの板バネを、触らないでください。
変形すると紙送りがうまくできなくなります。

・用紙受け部(ペーパーカセットの上)に、用紙以外のものを置かないでください。
・用紙の印刷面(光沢のある面)には、指を触れないでください。
なるべく用紙の端(ミシン目の外側)を持ってください。また、硬いもので擦ったり、汗や水で濡れた手で用紙を持ったり、印刷面を指紋や水滴などで汚さないでください。
・用紙に文字を書くときは、油性ペンをお使いください。
・変色や色落ち、色移りの原因になりますので、用紙の印刷面に対し、次のことは避けてください。
　・粘着テープなどを貼る。
　・ビニール製のデスクマットや名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる。
　・アルコールなどの揮発性溶剤をつける。
　・他の物に密着させたまま放置する。

バッテリー（CP730 のみ）

・バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。
汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。
・先のとがった金属製のピンやクリップなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。持ち運んだり保管するときは、必ず付属のバッテリーパック端子カバーを取り付けてください。
・5～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには、10～30℃で使用することをおすすめします。
スキー場などの寒冷地では、バッテリーの性能が一時的に低下します。
・バッテリー残量が少なくなると、用紙が用紙受け部に最後まで排紙されないことがあります。
その場合には、フル充電した新しいバッテリーに取り替えるか、ACアダプターをお使いください。

主な仕様

コンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/CP720

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

印刷方式：	昇華型熱転写方式（オーバーコート付）	
印刷解像度：	300 × 300dpi	
階調数：	256階調/色	
インク：	専用インクカセット（Y/M/C/オーバーコート）	
用紙：	Lサイズ、ポストカードサイズ、カードサイズ（全面シール、8分割シール含む）、ワイドサイズ	
印刷サイズ：	フチなし	フチあり
Lサイズ	89.0×119.0mm	79.2×105.3mm
ポストカードサイズ	100.0×148.0mm	91.4×121.9mm
カードサイズ	54.0×86.0mm	50.0×66.7mm
	22.0×17.3mm（8分割シール1枚あたり）	
ワイドサイズ	100.0×200.0mm	91.4×121.9mm
	（お使いのカメラによって印刷範囲が異なります）	
印刷時間：	メモリーカードから印刷	カメラ接続時 *
Lサイズ	約1分7秒	約50秒
ポストカードサイズ	約1分17秒	約58秒
カードサイズ	約45秒	約31秒
ワイドサイズ	約1分35秒	約1分13秒

* キヤノン製 DIGIC II 搭載コンパクトデジタルカメラ接続時。
他のカメラでは印刷速度が異なる場合があります。また、当社測定条件によるもので、使用状況などにより異なります。

給紙方式：	ペーパーカセットからの自動給紙
排紙方式：	ペーパーカセット上面へ自動排紙
液晶モニター：	CP730：2.0型カラー CP720：1.5型カラー
インターフェース：	
USB	CPダイレクト対応カメラ、PictBridge対応機器接続時：Type A、 プリンター内蔵巻き取り式USBケーブル（mini-Bプラグ） パソコン接続時：Type B
無線	IrDA（プリントビーム）（CP730のみ） IrOBEXまたはIrMCで、vNOTEによる画像転送 Bluetooth（プリントビーム） Bluetoothユニット BU-20（別売）が必要 使用可能な機器：Bluetoothを内蔵し、プロファイルがOPP（Object Push Profile）またはBIP（Basic Imaging Profile）対応のもの 無線LAN（IEEE 802.11b） 無線通信対応デジタルカメラ IXY DIGITAL WIRELESS（別売）およびワイヤレスプリントアダプターWA-1（カメラに付属）が必要
メモリーカード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード、miniSDメモリーカード、miniSDHCメモリーカード、RS-MMC、CFカード、マイクロドライブ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO、メモリースティック xD-Picture Card*

* 専用のアダプターが必要。
動作確認アダプター：富士写真フイルム株式会社製型番 DPC-CF

動作温度：	5～40℃
動作湿度：	20～80%
電源：	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 バッテリーパック NB-CP2L
消費電力：	60W以下（待機時は4W以下）
大きさ：	CP730：178.0×131.0×63.0mm CP720：178.0×125.0×63.0mm
質量（本体のみ）：	CP730：約955g CP720：約930g

コンパクトパワーアダプター CA-CP200

定格入力：	AC100～240V（50/60Hz） 117～150VA 1.5A（100V）～0.75A（240V）
定格出力：	DC24V、2.2A
使用温度範囲：	0～45℃
大きさ：	122.0×60.0×30.5mm（電源コード除く）
質量：	約310g

バッテリーパック NB-CP2L（CP730のみ）

形式：	リチウムイオン充電池	
公称電圧：	DC22.2V	
公称容量：	1200mAh	
充放電回数：	約300回	
印刷枚数 *：	L サイズ用紙	約36枚
	ポストカードサイズ用紙	約36枚
	カードサイズ用紙	約72枚
	ワイドサイズ用紙	約24枚

* 測定条件：常温（23℃）、当社標準画像、連続印刷。
　当社測定条件によるもので、印刷する画像、印刷状況などにより異なります。

使用温度範囲	5～40℃
大きさ	110.0×40.7×37.5mm
質量	約230g

使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリー残量低下警告が早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

困ったときに読むページ

動きがおかしいときやエラーマークが表示されたときの対処法です。

故障かなと思ったら

下記項目にしたがって再度点検しても解決しないときは、お買い上げになった販売店または「お客様相談センター」にお問い合わせください。

本体、電源のトラブル

Q 電源が入りません。

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？(→ P.8)
- コンパクトパワーアダプターのコネクタをプリンターのDC IN端子に差し込んでいますか？(→ P.8)
- 電源ボタンを長めに押してみましたか？
- バッテリーパックをお使いの場合
  - ・バッテリーは十分に充電していますか？
  - ・カチッと音がするまでバッテリーを押し込みましたか？(→ P.34)

Q 電源スイッチが赤く点滅しています。

- いったん電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
エラーマークが表示されている場合は、エラーマークにしたがってトラブルを解決してください。(→ P.45)

印刷時のトラブル

Q 印刷できません。

- プリンターの電源は入っていますか？
- 複数の機器に接続していませんか？
カメラやメモリーカード、パソコンを同時に接続しないでください。
- ペーパーカセットは、奥まで入っていますか？
- インクカセットは、奥まで入っていますか？
- インクシートがたるんでいませんか？
- 指定の用紙を使っていますか？
- 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしていませんか？
- プリンターは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止します。これは故障ではありませんので、温度が下がるまでしばらくお待ちください。温度が上がる原因には次のようなものが考えられます。
  - ・連続して印刷するとき。
  - ・周囲の温度が高いとき。
  - ・プリンター背面の通風孔がふさがれるなどして、プリンター内部の温度が高いとき。

  パソコンに接続している場合は、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

➜ メモリーカードから印刷している場合

・メモリーカードは、ラベル面を上にして奥まで入っていますか？

・画像ファイルは、DCF規格に準拠していますか？（DCF規格に準拠していなくても、画像ファイルがJPEGの場合、深いフォルダ階層に入っていなければ印刷できることがあります）

➜ カメラに接続して印刷している場合

・カメラとプリンターの接続状態を再確認してください。

・キヤノン製カメラをお使いの場合、カメラのファームウェアはプリンターに対応していますか？弊社ホームページ（http://canon.jp/selphy/）で対応機種をご確認の上、ファームウェアをダウンロードしてください。

・カメラのバッテリー残量は十分ですか？フル充電されたバッテリーまたは新品の電池に取り替えるか、カメラ用のコンパクトパワーアダプターをお使いください。

➜ パソコンに接続している場合

・正しい手順でプリンタードライバをインストールしましたか？

・プリンターとパソコンを、USBケーブルで直接接続していますか？USBハブを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

・パソコンとプリンターを接続するUSBケーブルは同梱されていません。市販のUSBケーブルをお使いください。

Windowsの場合のみ

・プリンターがオフラインになっていませんか？プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。

Macintoshの場合のみ

・プリンタリストにプリンターが登録されていますか？

Q 特定の画像だけ印刷できません。

➜ 画像ファイルが壊れている可能性があります。

➜ JPEG以外の画像は印刷できません。

➜ 8000×6000画素を超えるサイズの画像は印刷できません。

Q 日付印刷ができません。

➜ メモリーカードから印刷している場合

・**DATE**ボタンで日付印刷を設定してください。

・DPOF印刷を行う場合、日付の設定はカメラ側で行います。

➜ カメラや携帯電話などから印刷している場合

・日付印刷の設定は、カメラや携帯電話側の設定で行います。プリンター側の設定で日付を印刷することはできません。

Q きれいに印刷できません。

➜ インクシートや用紙は汚れていませんか？

➜ プリンター内部にほこりなどは付着していませんか？
付属のクリーナーを使って、ほこりなどを取り除いてください。

➜ プリンターに結露は発生していませんか？
常温でしばらく放置してください。

➜ 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていませんか？
1m以上離してください。

Q カメラの液晶モニターにエラーメッセージが表示されず、プリンターの電源スイッチが赤く点灯しています。

→ 印刷時に異常がありました。
用紙を本体から取り除き、インクシートのたるみを取ります。その後、いったん電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。

Q パソコンの画面の色と印刷された色が違います。

→ パソコンのディスプレイと印刷では発色の方法が異なります。また、ディスプレイを見ているときの環境(明かりの色や強さ)や、ディスプレイの色の調整によっても違ってきます。

Windowsの場合

・プリンターのプロパティで、色や明るさを調整できます。
まず、ZoomBrowser EX の[ツール]メニュー [環境設定]の[印刷]タブで[ZoomBrowser EX の印刷機能を使用する]をチェックします。印刷の画面でプリンターの[プロパティ]ボタンをクリックし、[画質調整]タブで色を調整してください。

Macintoshの場合

[カラー表現]で色合いの調整ができます。

Q パソコンで印刷中断後、再開したら、すでに印刷された画像も印刷されてしまいました。

→ Macintoshの場合、印刷を中断した後で再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

用紙のトラブル

Q 用紙がカセットに入りません。

→ 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズは合っていますか？

Q きちんと紙送りされていません。

→ 用紙やペーパーカセットは正しくセットされていますか？

Q よく紙詰まりが起きます。

→ ペーパーカセットに用紙を入れすぎていませんか？19枚以上(ワイドサイズの場合は13枚以上)の用紙を入れないでください。

→ 用紙受け部に印刷済みの用紙を10枚以上をためていませんか？

→ 用紙が折れ曲がったり、反ったりしていませんか？

Q 枚数分印刷できません。用紙があります。

→ 次の操作を行うと、インクシートが無駄遣いされることがあります。

・印刷しないのに電源の入／切を繰り返す。
・印刷中に印刷を中止する。
・インクシートを引っ張る。
・複数枚印刷の途中で用紙がなくなったときに、インクカセットを抜く。(用紙を補充するときは、インクカセットを抜かずに、ペーパーカセットを抜き、用紙を補充してください)

エラーマークが表示されたら

プリンターに何らかの問題が起こると、液晶モニターに、エラーの種類を示すマークが表示されます。該当するエラーマークの対処を行ってください。また、カメラとプリンターを接続している場合には、カメラの液晶モニターにもエラーメッセージが表示されますので、ご確認ください。

画像を表示できません

・画像ファイルにサムネイル(確認用の小さな画像)が含まれていない可能性があります。この場合には、印刷は可能です。
・画像ファイルが壊れている可能性があります。この場合は、印刷できません。

メモリーカードに画像がありません

・メモリーカードが入っているか確認してください。
・メモリーカードが、奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。
・メモリーカードに画像が入っているか確認してください。

画像が読み込めません

・次のような画像を印刷しようとしました。
　・別のカメラまたは異なるタイプで撮影した画像
　・いったんパソコンに取り込んで加工した画像
　・8000×6000画素を超える大きな画像
　・データが壊れている画像

PRINT/STOP を押すと元の画面に戻ります。

用紙がありません

・ペーパーカセットが奥まで入っているか確認してください。
・ペーパーカセット内に用紙が入っているか確認してください。
・給紙が正しく行われていない場合は、ペーパーカセットを取り出し、プリンターに残った用紙を抜き取ってください。
・ペーパーカセットに、印刷できないサイズの用紙が入ってないか確認してください。

用紙がつまりました

・電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
・電源を入れ直しても用紙が出てこない場合は、お客様相談センターにご相談ください。

インクがありません

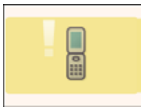
・インクカセットが入っていることを確認してください。
・インクカセットのインクがない場合は、新しいインクカセットに交換してください。
・インクと用紙の組み合わせが間違っていないか確認してください。

インクカセットに異常があります

・電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
・インクカセットを取り出し、インクシートのたるみを取ってから、再度入れてください。それでも直らない場合は、新しいインクカセットに交換してください。インクカセットが取り出せないときは、お客様相談センターにご相談ください。

バッテリー切れです（CP730のみ）

・バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。または、コンパクトパワーアダプターを接続してください。

通信できません

・無線を使った印刷ができません。プリンターとカメラの位置、距離、カメラ側の設定などを確認してください。

通信が途切れました

・無線を使った印刷の途中で通信が途切れました。プリンターとカメラの位置、距離を確認し、操作しなおしてください。

その他のエラー

・プリンター（カメラ接続時にはカメラも）の電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
・再度同じエラーマークが表示される場合は、お客様相談センターにご相談ください。

したいこと索引

項目のページ番号をクリックすると、そのページにジャンプします。

・MacintoshおよびMac OSは、米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
・Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。本書では、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® XPを、それぞれWindows 2000、Windows XP、またはWindowsと略して記載しています。
・SDHCロゴ、miniSDHCロゴは商標です。

・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
・このプリンターやソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

CDP-J053M-010